

第3回いなべ市総合計画審議会 会議録

会議名	第3回いなべ市総合計画審議会 (第2次いなべ市総合計画第2期基本計画策定)
開催日時	令和2年9月29日(火) 14:00~15:00
開催場所	いなべ市役所議会棟 2階 第1委員会室
出席者	<p>【委員】 出席(16名) 丸山康人、田中佳奈、近藤忠彦、神谷清、岩花まつ子、福本美津子、中村弘樹、二井加代子、小林久里子、伊藤和雄、伊藤由佳、佐藤忠生、水貝和代、弓矢孝己、山本たか代、小川時生</p> <p>欠席(4名) 中澤政直、小川好彦、川上修、相田直隆</p> <p>【事務局】 17名 副市長、総務部長、都市整備部長、市民部長、環境部長、福祉部長、健康こども部健康推進課長、農林商工部長、建設部長、教育部長、国体推進事務局長、水道部長、企画部長、政策課長、政策課3名</p> <p>【オブザーバー】 ジャパンインターナショナル総合研究所</p>
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 会長あいさつ 3. 説明及び審議事項 <ol style="list-style-type: none"> (1) スケジュールについて 資料1 (2) 第2次いなべ市総合計画第2期基本計画(案)について 資料2 4. 意見交換 5. 次回の会議について 6. 閉会
配布資料	資料1 …スケジュール 資料2(別冊) …第2次いなべ市総合計画第2期基本計画(案)
公開、 非公開の別	公開
議事概要	
	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 会長あいさつ

3. 説明及び審議事項

(1) スケジュールについて

【事務局】

資料1 「スケジュール」について説明

【会長】

スケジュールについて説明をいただいた。次の議題をお願いする。

(2) 第2次いなべ市総合計画第2期基本計画（案）について

【事務局】

資料2（別冊）第2次いなべ市総合計画第2期基本計画（案）について説明

4. 意見交換

【会長】

第2次いなべ市総合計画第2期基本計画（案）について、第1期基本計画から新たに加えた点、変更した点を中心に説明をいただいた。どこからでも結構なので、委員の皆さまからご意見をいただきたい。

【委員】

私は、障がいの分野に携わっている。障がい者福祉の推進や災害時のことについても記載していただいている。災害時には地域の方から支援を受けることが必要になる。総合計画をもとに裾野を広げて、障がい者の方のための「障がい者計画・障がい福祉計画・障がい児計画」でも今後、協議していくことができる。素晴らしい計画だと感じている。計画の内容については、15頁のダイバーシティの推進の部分の文字が切れている点と、123頁の最後の行のフォントのサイズが異なる点を修正していただきたい。

【委員】

7頁の基本事業1のタイトルの最後の文字が消えかかっているなのでその部分も修正してほしい。

【委員】

24頁に南海トラフ地震の発生も危惧される中、市民の防災意識や防災力の向上が必要ということが記載されているが、私が最も重視したいのは防災訓練である。消防団では防災訓練を行っているが、いなべ市役所も含めた大々的な防災訓練についてはどのように考えているのか。

【執行部】

防災訓練については広域での取組みも考えているが、現時点では具体的な内容は決まっていないので、申し訳ないがこの計画の中に示すことはできない。

【委員】

市役所幹部と、全ては難しいが地域も含めた中で、一連の流れや役割についてしっかり確認することが重要だと思う。

【執行部】

補足になるが、最近の取組みとしては、先日の9月議会最終日に、議会と議会に出る幹部を含めた職員が参加して防災訓練の取組みを行っている。

【委員】

是非、全体の流れの中での防災訓練の検討をお願いします。

【会長】

今後、再検討していくということをお願いします。

【委員】

計画の内容については特に意見は無いが、具体的なことについて3点質問したい。

23、24頁の消防団員の確保についてはどう進めているのか。地域の防災意識を高める中で、若い人たちに関心を持ってもらうことも大切なことである。1つの案として、成人式を通じて地域の防災を考えるとともに団員募集のアピールも行えればと思う。地域の防災について思いのある若者もいると思う。

35頁の都市公園の整備の成果指標がいなべ公園の入場者数となっているが、他の公園についての構想はあるのか。

51、52頁の「青少年の夢を育む地域づくりの推進」の、「2025度のいなべ市の姿（施策の目標）」で、子どもの居場所づくりについて書かれている。平日は子どもの居場所として放課後児童クラブの必要性が増しており、休日や冬期休暇は放課後子ども教室の利用することになると思うが、長期休暇の場合、親が普段通りの生活をしようと思うと、放課後子ども教室は放課後児童クラブほど長く子どもを預かれない。送迎の問題等、先を見据えて手立てを考えて行ければ良いと思う。

【執行部】

団員確保の取組みは先頃の9月議会で条例改正を行い、年齢を20歳以上から18歳以上に変更

し、居住地が市内に限られていたものを市内事業所に勤務する人も可能とした。また、今年度は女性も8名の応募があり、来年度からは女性の消防団員も誕生することになる。

【執行部】

ご質問の件は、いなべ公園のことである。いなべ公園は日々の利用や休日の家族での利用、小学校や保育園の遠足など様々な用途で利用されており、令和元年度は利用者が前年度と比べて1割ほど増加している。しかし、近年、近隣市町に大きな公園ができたこともあり、施設の差別化を図りながら現状の遊歩道や散策路の整備などに取組み、利用を促進していく。

【執行部】

子どもの居場所については、今年度から笠間、東藤原の2か所で夏休み長期休暇の放課後児童クラブを開設した。送迎に関しては今後検討していきたい。

【委員】

今年の7月に、いなべ市がSDGs未来都市に選定された。この計画でも細かく掲載してもらっているが、市民目線で考えるとまだまだ分からないこともある。SDGsの指標が1から17まであるが、いなべ市の取組ではこれがSDGsの何番目の目標に該当するよ、ということを紹介してはどうか。小中学校ではエコバックを新調して一番生活に密着したところから取組んでいる。広報Linkで紹介してもらっても良いと思う。いなべブランド冊子のように詳しく紹介していただくとSDGsも市民に受け入れられていくのではないかな。また、SDGs未来都市として受け入れていかなければならないと思う。

【事務局】

まだなじみの薄いSDGsをいかにして市民の皆様に浸透させていくかということは大きな課題である。紙面の関係もあるが、この計画にも文字だけでなくSDGsのアイコンを掲載していく等の工夫を行いたい。また、広報誌Linkの12月か1月号にSDGsの特集を掲載する予定である。様々な対策を行いながらSDGsの浸透に取り組んでいきたい。

【委員】

防災については、先ほどの神谷委員の意見に私も同感である。市役所も一体となった訓練を実施していただきたい。県主導の防災訓練で木曽岬町が津波を想定していなべ市に避難する訓練があったかと思う。避難を受け入れる側として連携を取っていければ、消防団や防災無線や防災ラジオ等の重要性も認識していただけたと思う。

5頁の「市民が主役のまちづくり」の「2025年度のいなべ市の姿（施策の目的）」で、自治会加入世帯の維持により、コミュニティ活動が活性化されています、とあり、非常に素晴らし

いことである。一方で、私の住んでいる地域では開発により若い人が増えており、このこと自体は素晴らしいことだが、自治会の加入者は半々であり、今後は未加入者が増えていくのではないかと思う。地域の伝統や慣習もあると思うが、そろそろ行政と自治会が一体となって対策に取組み、自治会へのアドバイス等も行政からいただきながら進めていければ、より良い地域になっていくと思うので、今後ともよろしくお願ひしたい。

【執行部】

1点目の防災の件についてはおっしゃる通りだと思ひるので、今後、広域的な訓練の際にはご助言をいただいた内容を踏まえて取組んでいく。

2点目の自治会加入者については、増加は見込みにくいため、どうにか現状を維持していくという状況である。自治会によっては財産の問題から新規加入者は望まないという所もある。自治会の色んな事情があり、行政から指示ができない部分もあるが、自治会加入者数の維持、できれば何とか加入者を増やす方向で、自治会と連携を取りながら取組んでいく。

【会長】

財産区というのはどのくらいあるのか。

【執行部】

自治会は150程度、財産は持っている所とないところがある。

【会長】

財産を持っている所はあまり新規で入ってほしくないということがあるのかもしれないが、財産は別で考える等、合理的に取組める仕組みを考えていければ良いと思ひます。他の事例も参照してみたいか。

【執行部】

「市民が主役のまちづくり」は、本市の大きな柱である。指標では自治会加入者数を掲げているが、自治会加入の有無を問わず通勤や通学の皆さまも含めて市民参画、市民協同が積極的に行われることが大切であると思ひている。

【会長】

最後に私からお話したい。委員の皆さんのご指摘については、可能な限り取り入れていただきたい。「市民が主役のまちづくり」については、自治会だけでなく「市民」を広くとらえて取組んでほしい。私は仕事柄、様々なまちに行かせてもらうが、地域性から移住者の受け入れが難しいという所もある。それを橋渡しするのも行政の役割である。

また、消防団に女性が入るということだが、私の大学でも女性が地域の消防団に入団している。いなべ市にも色々な事業体があるので、女性や住んでいない人も含めて消防団員を増やしていく努力をしてほしい。消防訓練については市全体で実施することが難しければ旧町単位等、できる所、できることから始めてほしい。本格的なものでもなくても良いので。私の大学では今年はコロナ禍で大々的な防災訓練ができなかったので、ハンドブックを使った啓発を行った。皆さんもできるところから進めていただきたい。

それでは、次回の会議について事務局よりお願いする。

5. 次回の会議について

【事務局】

次回の会議は、令和2年10月13日（火）午後2時から、いなべ市役所議会棟2階第1委員会議室で開催する。

6. 閉会

その他事項

無し